

2021/2022 全日本選抜スピードスケート競技会 帯広大会 要 項

2021年10月4日

1. 主催

公益財団法人日本スケート連盟（以下「本連盟」という。）

2. 共催

北海道新聞社

3. 後援

北海道 公益財団法人北海道スポーツ協会 帯広市 帯広市教育委員会
一般財団法人帯広市文化スポーツ振興財団 帯広市スポーツ協会 十勝毎日新聞社

4. 主管

一般財団法人北海道スケート連盟（運営主管：帯広スケート連盟）

5. 会場

明治北海道十勝オーバル（帯広の森屋内スピードスケート場）

北海道帯広市南町南7線56番地7 帯広の森運動公園内 TEL: 0155-49-4000

※ 競技会開催中に、競技会場には本競技会に関する問い合わせを一切しないこと。

6. 競技距離

女子 500m 1000m 1500m 3000m 5000m マススタートレース(16周)

男子 500m 1000m 1500m 3000m 5000m 10000m マススタートレース(16周)

7. 競技日程

2021年11月18日(木)

公式練習 13:00-13:50、14:05-14:55、15:10-16:00

（各セクションとも開始20分後から20分間スタートトライアルを実施する）

代表者会議 17:00（明治北海道十勝オーバル）

2021年11月19日(金)

公式練習 7:30-8:00

ウォームアップ 8:15-8:40（当日出場者のみ）

競技開始 9:00 ①女子500m ②男子500m ③女子3000m ④男子5000m

⑤女子マススタートレース準決勝 ⑥男子マススタートレース準決勝

公式練習 競技終了後30分

2021年11月20日(土)

公式練習 7:30-8:00

ウォームアップ 8:15-8:40（当日出場者のみ）

競技開始 9:00 ①男子3000m ②女子1000m ③男子1000m ④女子5000m ⑤男子10000m

公式練習 競技終了後30分

2021年11月21日(日)

公式練習 7:30-8:00

ウォームアップ 8:15-8:40（当日出場者のみ）

競技開始 9:00 ①女子1500m ②男子1500m

③女子マススタートレース決勝 ④男子マススタートレース決勝

※ 競技日程は、参加者数により変更する場合がある。

8. 競技方法

- (1) 本競技会は、本要項の各規定のほか、国際スケート連盟(以下「ISU」という。)規則及び本連盟規則に従った距離別競技会とする。
- (2) トラックは標準 400m ダブルトラック C タイプとする。ただし、マススタートレース (以下「MSR」という。)については、アップレーンを含む全面を使用する。
- (3) 1000m以上の距離はカルテットスタート競技方法を採用することができる。
- (4) MSR を除く各距離における同時滑走者の組合せ及び滑走順は以下のとおり決定する。以下に定めのない事項については ISU 規則第 239 条 2 項に従う。
 - ア) 組合せ、滑走順用ランキングの編成
 - ① 距離ごとに参加申込みが受け付けられた競技者 (以下「参加競技者」という。)について、当該距離の 2021 年 3 月 31 日時点の記録 (高地リンクで記録されたものを除く。以下「前年度記録」という。)の順位によって順位付ける。
 - ② 前年度記録のない参加競技者については、ア)①までのランキングの最下位に続けて、抽選により順位付ける。
 - イ) 組合せ及び滑走順
 - ① MSR を除く各距離において同時に滑走する参加競技者は、ア)によって編成されたランキングの上位の競技者から 2 名ずつ組み合わせる。
 - ② スタートレーンは、上位の者をインレーンとする。
 - ③ ランキングの下位の組から上位に向けて順次滑走する。
 - ウ) イ)の組合せ及び滑走順の決定後に棄権者が生じた場合、ISU 規則第 245 条 1 項に従って新たな組合せ及び滑走順を決定する。
 - エ) 最終順位は、ISU 規則第 265 条、第 268 条及び第 275 条に従って決定する。
- (5) MSR の競技方法は、以下のとおりとする。
 - ア) 競技方法は、ISU 規則第 253 条 4 項 b)に従う。同条項に定める安全対策として、ヘルメット (ショートトラック競技の基準に適合するもの)、脛あて、手袋、ネックプロテクション、アングルプロテクション、ブレードカットを義務づけるものとする。レーシングスーツは、カットレジスタンスであることが望ましい (詳細は、ISU コミュニケーション No. 2195 を参照)。
 - イ) 参加競技者が 24 名を超えた場合は準決勝を行い、決勝は 16 名とする。ただし、参加競技者が 28 名以下の場合は決勝のみとする。
 - ① 参加競技者を本連盟が公表した当該距離の前年度ポイント合計に基づき順位付ける。ポイントのない者は抽選により順位付け、前段の最下位の者に続く。
 - ② 準決勝は、イ)①により順位付けられた参加競技者を必要な組に配置する。各組への配置は、ISU 規則第 296 条 4 項を準用する。
 - ③ 決勝へは、準決勝各組の上位から同数が進出する。
 - ウ) スタートは、参加競技者が 6 列に整列して行う。準決勝、決勝とも参加競技者の並び順は抽選による。
 - エ) 3 回の中間スプリントと最終スプリントを設定し、最終順位は、第 1 に、スプリントポイントの合計により決定し、第 2 に第 1 に続いて、フィニッシュ順位により決定する。その他順位の決定については、ISU 規則第 265 条 6 項に従う。
- (6) 各距離の最終順位に別表に定める全日本選抜ポイントを与える。
 - ア) 同順位はそれぞれに当該順位のポイントを与える。
 - イ) MSR 準決勝敗退者は各組ともそれぞれ上位から 17 位以降のポイントを与える。
 - ウ) ポイント合計が同じ場合は、次の優先順により上位者を決定する。
 - ① より高いポイントをもつ者 (最高ポイントが同じ場合は 2 番目に高いポイント、それが同じ場合は 3 番目に高いポイント、以下順次同様とする)
 - ② 直近の全日本選抜スピードスケート競技会のポイントが高い者
 - ③ 前 2 号で上位者が決定しない場合は同順位とする。

9. 表彰

各距離 (MSR は決勝) とも 1 位から 3 位までの者にメダル及び賞状を授与する。

10. 参加資格

(1) 本年度の本連盟登録競技者であって、次の各号いずれかに該当する者を参加有資格者とする。

ア) 本連盟が公表した前年度記録(高地リンクを除く。)が次の表に掲げる順位以内の成績である者(男子 3000mはジュニア対象年齢の順位)

	500m	1000m	1500m	3000m	5000m	10000m
女子	50位	50位	50位	50位	20位	—
男子	50位	50位	50位	20位	50位	20位

イ) 前年度ジャパンカップポイント合計が、いずれかの距離において、次の表に掲げる順位以内の成績である者(男子 3000mはジュニア対象年齢の順位)

	500m	1000m	1500m	3000m	5000m	10000m	MSR
女子	30位	30位	30位	30位	16位	—	30位
男子	30位	30位	30位	16位	30位	16位	30位

ウ) 前年度公式競技会における成績が、次の表に掲げる順位以内の成績である者

対象競技会		500m	1000m	1500m	3000m	5000m	10000m	MSR
全日本ジュニアスピードスケート選手権大会	女子	8位	8位	8位	6位	—	—	6位
	男子	8位	8位	8位	—	6位	—	6位
全日本学生スピードスケート選手権大会(AR)	女子	—	—	8位	—	8位	—	—
	男子	—	—	8位	—	8位	—	—
全日本学生スピードスケート選手権大会(SP)	女子	8位	8位	—	—	—	—	—
	男子	8位	8位	—	—	—	—	—
全国高等学校スケート選手権大会	女子	6位	6位	6位	6位	—	—	—
	男子	6位	6位	6位	—	6位	6位	—
全国高等学校選抜スピードスケート競技会	女子	6位	6位	6位	6位	—	—	6位
	男子	6位	6位	6位	1位	1位	—	6位

エ) 第41回全国中学校スケート大会中止に伴う救済者

当該競技会実施距離の前年度タイムランキングの中学生上位3名とする。ただし、男子 5000mは1位のみとする。

(2) 追加有資格者

ア) 本連盟スピードスケート競技規則運用マニュアル2-1(2)に該当する者

イ) 10.(1)に該当する者が、本競技会参加申込締切までに終了した本年度公式競技会において、既に参加資格を有する距離以外に 10.(1)ア)に定める距離の順位の者の前年度記録以内の記録を収めた場合はその距離の参加資格を得る。

ウ) 10.(1)に該当する者以外が、本競技会参加申込までに終了した本年度公式競技会において、10.(1)ア)に定める距離の順位の者の前年度記録以内の記録を収めた場合はその距離の参加資格を得る。

エ) 当該競技会を主管する都道府県連盟に所属する当該年度最初に公表した参加有資格者が男女それぞれ 10名に満たない場合は、主管連盟所属のバッジテスト A級以上を有する高校生以下の者を開催地枠としてそれぞれ 10名を満たすまで参加有資格者に加えることができる。この場合、これらの者は1名2距離以内の選択とする。

オ) 追加有資格者に該当する者は、本連盟スピード部委員会に追加有資格者申請書を提出し、参加申込締切までに承認を受けた者とする。

(3) 本連盟スピード委員会が特に参加を認めた者は、その距離について参加資格を取得する。

(4) 外国選手の特別参加は、本連盟事業による国際交流、海外チーム・選手招待等の場合に限られ、本連盟スピード部委員会において審議の上、理事会の承認を受けて決定する。ただし、外国選手に賞は与えないものとする。

11. 参加距離

(1) 参加有資格者及び追加有資格者は、参加資格を取得する条件を充足した距離(以下「資格取得距離」という。)について参加することができる。ただし、男子 3000mについてはジュニア対象年齢(2002年7月1日以降に生まれた者)の者のみが参加できるものとする。

ア) 男子 3000mが資格取得距離であるシニア対象年齢の者は、これを男子 1500m又は男子 5000mに振り替えて参加することができる。この場合、男子 1500m又は男子 5000mがすでに資格取得距離であったとしても、他の距離への

振り替えは認めないものとし、参加取得距離数は振り替え後のものとする。

- イ) 資格取得距離が4距離以上の者は、資格取得距離にのみ参加できるものとする（男子 3000mに資格取得距離を有するシニア対象年齢の者は、本項目の適用上男子 1500m又は男子 5000mの参加取得距離を有する者として扱う）。
- (2) 資格取得距離の特例
 - ア) 資格取得距離が1距離である者は、当該距離に加え、他の任意の1距離を選択して参加することができるものとする（唯一の資格取得距離が男子 3000mのシニア対象年齢の者は、男子 1500m又は男子 5000mに振り替えた上で、他のもう1距離に参加できる。）。
 - イ) 資格取得距離が2距離又は3距離である者は、参加可能な2距離又は3距離のうち1距離を他の任意の距離に変更することができるものとする（資格取得距離のうち1距離が男子 3000mのシニア対象年齢の者は、これを11.(1)ア)により振り替えた上で、さらに本項目により振り替えることができる。）。
- (3) MSRの参加競技者が24名を超えた場合は準決勝を行い、その各組の上位から同数を選出して16名が決勝に進出する。ただし、参加競技者が28名以下の場合は決勝のみとする。

12. 参加申込

- (1) 参加資格を有する者には JSF マイページ（<https://www.skatingjapan.jp/mypage/>）の競技会参加申込サイト（以下「サイト」という。）で申し込むこと。
 - ア) 参加申込に際しては参加申込者のメールアドレスを入力し参加申込完了直後にサイトから自動送付される参加申込受理の通知（以下「受理通知」という。）を受け取る。この受理通知は参加申込にかかる疑義が生じた際確認するため、代表者会議が終了するまで保存しておくこと。
 - イ) 参加申込にかかる疑義で受理通知が確認できない場合は参加申込締切時の参加申込状況により以後の処理を行うものとする。
 - ウ) 参加申込締切前に参加申込の内容修正又は取り消しを行う場合はサイトで行うこと。この場合、前号同様に受理通知を受け取る。この場合、前号同様に受理通知を受け取る。（サイトへのログインは、参加申込締切日の正午までとする。）
 - エ) 参加申込締切後に参加を取り消す者は大会事務局へ必ず棄権届出書を提出すること。
 - オ) 大会事務局
 - 全日本選抜スピードスケート競技会大会事務局
 - 〒080-2471 北海道帯広市西 21 条南 3 丁目 29-3 櫻井知克士 気付
 - TEL: 0155-41-3755 FAX: 0155-41-3755 E-mail: chikashivolvo@live.jp
 - 本連盟事務局
 - 公益財団法人 日本スケート連盟
 - 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4 番 2 号 Japan Sport Olympic Square
 - TEL: 03-5843-0415 FAX: 03-5843-0416 E-mail: jsf@skatingjapan.or.jp
 - カ) 参加申込状況は参加申込締切後、本連盟ホームページに公開する。
- (2) 参加申込料は参加申込者名の銀行振込みで支払う（銀行振込に限る）ものとし振込手数料は申込者の負担とする。
 - ア) 参加申込料 1名 1距離 5,000円
 - イ) 振込先
 - 金融機関名： 北海道銀行 帯広支店
 - 口座番号： 普通 1241536
 - 名義： 帯広スケート連盟 会長 細川吉博（ホソカワ ヨシヒロ）
 - ウ) 参加申込締切後はいかなる場合も支払われた参加申込料は返還しない。ただし、本連盟が特に認めた者はこの限りではない。
 - エ) (2)ウ)ただし書に該当する者の支払われた参加申込料は銀行振込により返還するものとする。この場合、振込手数料は主催者の負担とする。
 - オ) 複数の申込者の参加料を一括して支払う場合は、参加料振込明細書を大会事務局へ送付すること。
- (3) 参加申込締切 2021年11月4日(木) 正午 ※受付開始：2021年10月5日(火)
- (4) 中学生以下の者にはサイトから出力した参加申込書(副)の親権者署名欄に親権者が自署した参加承諾書を最初の代表者会議までに大会事務局へ提出すること。
- (5) 参加申込 (12.(1)に定める参加申込及び12.(2)に定める参加申込料の支払いのいずれか一方又は両方) が遅延した者又は12.(1)の参加申込書が不完全な者は本競技会への参加を認めない。

- (6) 参加申込にかかる個人情報、個人情報の保護に関する法律・関連法令を厳守し、競技運営以外の目的には使用しない。

13. 宿泊

各自で手配すること。

14. その他

- (1) 本連盟基準の「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策としてのスポーツ活動再開ガイドライン」を基に、競技会開催地の都道府県関係部局の指示を仰ぎながら、その施設や地域の実情に合わせた「感染拡大防止対策」に取り組むものとする。遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、参加を取り消したり、途中退場を求めることがある。
- ア) 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。
- ① 体調がよくない場合（発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ② 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
 - ③ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- イ) マスクを持参すること。
- ウ) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- エ) 他の参加者、主催者スタッフ等との距離を確保すること。
- オ) 競技中に大きな声で会話、応援をしないこと。
- カ) 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- キ) 本競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- ク) 本連盟は本競技会に関わる全ての人の新型コロナウイルス感染に対するいかなる責任を負わない。
- (2) 本競技会中（6.の全日程中）の事故等については応急処置のみとし責任を負わない。
- (3) 本競技会への参加に際してはスポーツ傷害保険等に必ず加入していること。
- (4) 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程が適用される。
- (5) 本連盟主催競技会への参加に際しては、各自でアームバンド(4色)を手配すること。
- (6) 公式競技会への参加に際しては、バッジテスト級認定証を携行すること。(新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策のため、バッジ級更新ができなかった者がいることから、2021年6月30日が有効期限のバッジ級は当面の間その期限を延長する。なお、更新の機会があれば速やかに更新すること。)

全日本選抜ランキングポイント配点表

500m / 1000m / 1500m 女子 3000m / 男子 5000m				女子 5000m / 男子 3000m 男子 10000m / マススタートレース			
Rnk	Pnts	Rnk	Pnts	Rnk	Pnts	Rnk	Pnts
1	50	21	20	1	30	11	10
2	46	22	19	2	27	12	9
3	43	23	18	3	24	13	8
4	40	24	17	4	21	14	7
5	38	25	16	5	19	15	6
6	36	26	15	6	17	16	5
7	34	27	14	7	15	17	4
8	33	28	13	8	13	18	3
9	32	29	12	9	12	19	2
10	31	30	11	10	11	20	1
11	30	31	10	※ マススタートレースの準決勝敗退者には、各組ともその上位に17位以降の得点を付与する。また、決勝進出者であっても決勝を棄権した者には16位の得点を付与する。			
12	29	32	9				
13	28	33	8				
14	27	34	7				
15	26	35	6				
16	25	36	5				
17	24	37	4				
18	23	38	3				
19	22	39	2				
20	21	40	1				